

## 平成21年度の主な事業

### 1. 豊かな心と創造性あふれる 人材育成のまちづくり

- 本宮小学校大規模改修事業.....5億7,760万円
- 岩根小学校整備事業 耐震補強工事.....1億7,874万円
- 教育施設等整備事業基金積立金.....5,000万円
- 高木地区公民館トイレ改修工事.....872万円
- 地域食育推進事業.....100万円

### 2. 住民と行政の協働による 自立したまちづくり

- 行政区支援事業.....1,855万円
- 集会所整備支援事業.....135万円
- 市勢映像制作事業.....79万円
- 地域づくり支援事業.....55万円

### 3. 共に支えあうやさしいまちづくり

- 複合施設整備事業.....7億4,902万円
- 小学生医療費助成事業.....5,259万円
- 国民健康保険特別会計繰出金事業 税調整分.....5,000万円
- 放課後児童健全化育成事業.....4,180万円
- 延長保育事業.....2,118万円
- 預かり保育事業.....1,942万円
- 妊産婦健康診査.....1,710万円
- 健康診査事業.....931万円
- 健康力アップ応援事業.....290万円



### 4. 活力あるふるさとの まちづくり

- 工業用地造成事業償還基金積立のための繰出金.....3億5,000万円
- 地域雇用支援事業.....4,021万円
- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業.....1,570万円
- 商工業振興団体支援事業.....1,172万円
- 観光関係団体運営支援事業.....1,055万円
- グリーン・ツーリズム地域推進事業.....551万円



### 5. 安全安心な環境の まちづくり

- 道路や橋の改良・新設・補修.....5億2,349万円
- 多目的交通運営事業.....2,127万円
- 防犯灯設置工事.....747万円
- 地球温暖化対策事業.....380万円

### 特別会計・企業会計



限られた予算の中で、節約をしながら運営したので、すべての会計が黒字となりました。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	29億9,563万円	29億4,118万円	5,445万円
老人保健特別会計	2,884万円	2,791万円	93万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,891万円	2億2,717万円	174万円
介護保険特別会計	16億7,086万円	16億3,123万円	3,963万円
公共下水道事業特別会計	12億62万円	11億8,421万円	1,641万円
農業集落排水事業特別会計	5,023万円	4,889万円	134万円
工業用地造成事業特別会計	9億7,960万円	9億7,629万円	331万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,474万4千円	1億1,474万1千円	3千円

### 企業会計（水道事業）の決算

経常的な収支		投資的な収支	
収入	9億5,364万円	収入	3億2,447万円
支出	8億2,416万円	支出	8億6,166万円

※投資的な収支の不足分は留保資金や積立金を取り崩して補てんしました。

# 財政状況の診断結果発表!!



本宮市の平成21年度各会計の決算がまとまりました。皆様から納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

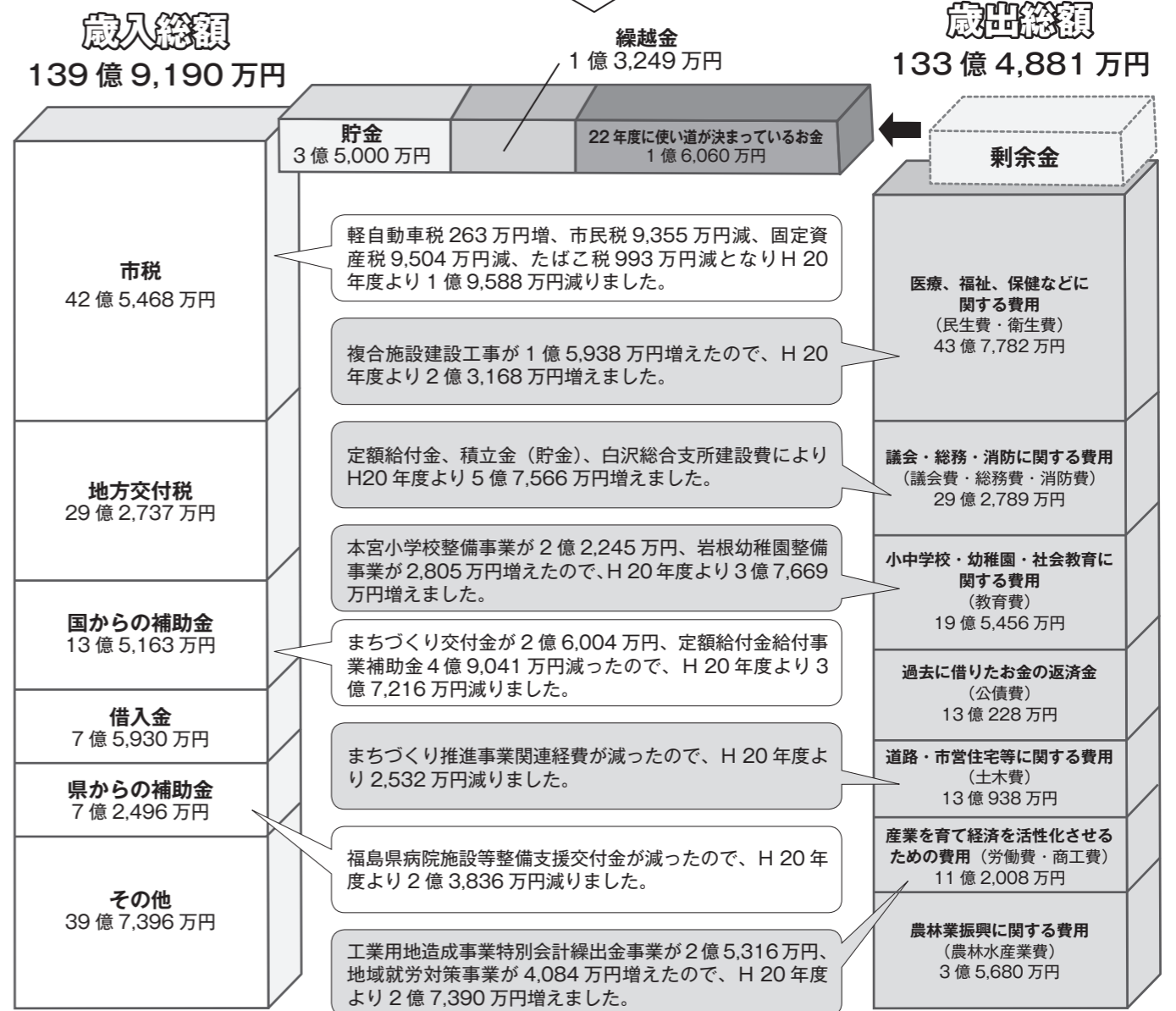
## 平成21年度決算の状況



### 一般会計

歳入から歳出を差引いた収支は6億4,309万円の黒字となりました。歳入については、国からの補助金や基金の取り崩しなどにより当初の予算額を上回りました。歳出については、産業、医療、福祉などに関する費用が当初の予算額を上回りました。

剰余金6億4,309万円のうち22年度に使い道が決まっているお金（H21年度中に事業が完了しなかった分）は1億6,060万円、3億5,000万円を貯金し、残りの1億3,249万円を22年度に繰越しました。



H21年度の決算は、H20年度と比較すると歳入が6.1%増、歳出が10.1%増となりました。次のページで主な事業にどのくらいお金が使われたのかを具体的に説明します。

## 本宮市の貯金はどのくらいあるの？

基金名	H21末残高
財政調整基金	11億7,966万円
地域福祉基金	4億1,057万円
本宮小学校整備基金	6,065万円
教育施設等整備事業基金	5,370万円
減債基金	5,031万円
その他	1億294万円
合計	18億5,783万円

### 基金残高は18億5,783万円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で収支が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設等の耐震化事業など特定の目的のために積み立てている基金があります。

平成21年度中は、緑化基金、地域振興基金、道路愛護基金を廃止し、また教育施設等整備事業基金の充実を図りました。



## 本宮市の財政は健全なの？

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。



**実質赤字比率 該当なし** イエローカード 13.75%

一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。

**連結実質赤字比率 該当なし** イエローカード 18.75%

一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。

本宮市自主的財政健全化計画では20.7%で、計画よりも0.7ポイント下回りました。

**実質公債費比率 20.0%** イエローカード 25%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。

昨年度は225.1%でしたので、13.7ポイント下がりました。

**将来負担比率 211.4%** イエローカード 350%

市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当などの将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。

上記の4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体(イエローカード)、財政再生団体(レッドカード)となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

本宮市では、H21年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。しかし、実質公債費比率や将来負担比率については高い数値がでていますが、今後も事業の効率化を図り、できる限り節約して健全な財政運営をします。

現在高めの数値がでていますが、実質公債費比率と将来負担比率については、今後減少していくので心配ありません！

## 今後のために今することは？

本宮市では、厳しい財政状況の中、市民の皆様に必要なサービスを提供するために、H19年度に「本宮市自主的財政健全化計画」を策定しました。以下の点に重点をおいて財政運営していきます。

- 歳入**
- 1・**税収の確保**  
収納体制の強化を図ります。
  - 2・**遊休財産の売却**  
将来利用計画がないものについて適正に売却します。

- 歳出**
- 1・**人件費の抑制**  
特別職給料、議員報酬、管理職給料及び手当の減額をH20~22年度に実施する。
  - 2・**経費の節約**  
施設の維持管理の経費や消耗品、物品の購入などの経費を節約します。

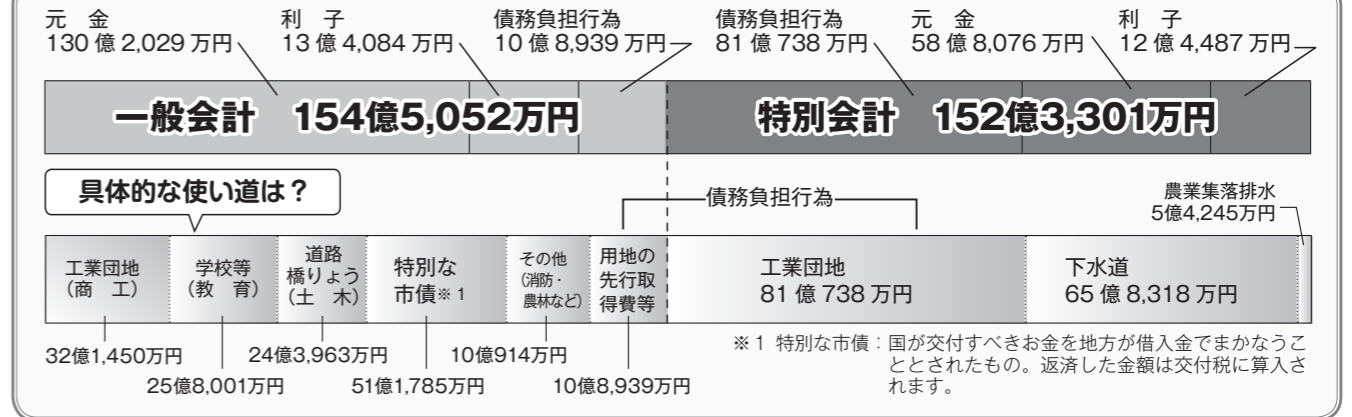
市は将来を見据えてしっかりと財政運営をしていきます。市民の皆様も財政事情をご理解いただき、市政のあり方について一緒に考えていきましょう。

このページに関するお問い合わせは財政課財政係(内線232)へ  
詳細はホームページでも公表しています。  
<http://www.city.motomiya.lg.jp/>

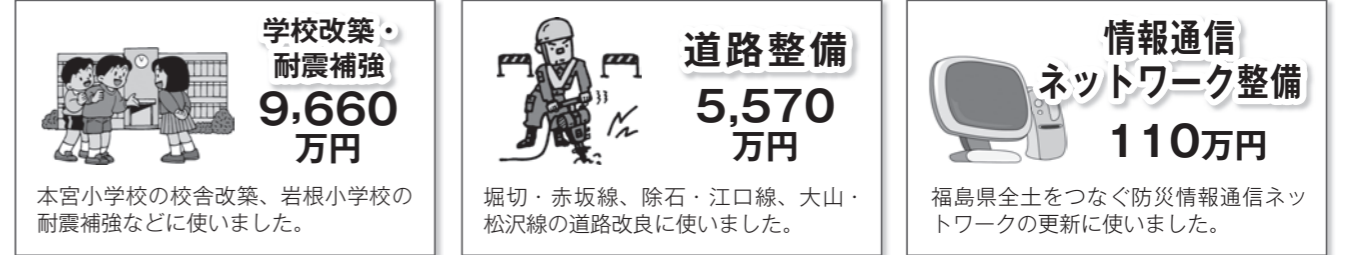
## 本宮市の借金はどのくらいあるの？

### H21年度末残高

市債残高 **214億8,676万円**  
債務負担行為残高 **91億9,677万円**  
市民1人当たりでは？ **97万円** (前年度103万円)  
H22.3.31現在の住民基本台帳の人口で除して算出



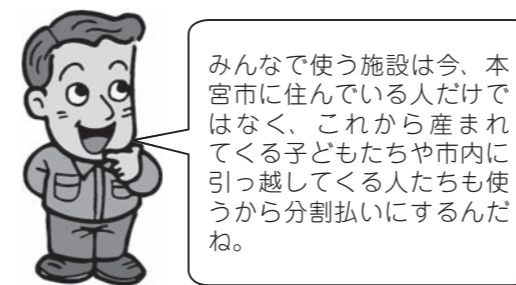
### H21年度に一般会計で発行された市債の使い道は？



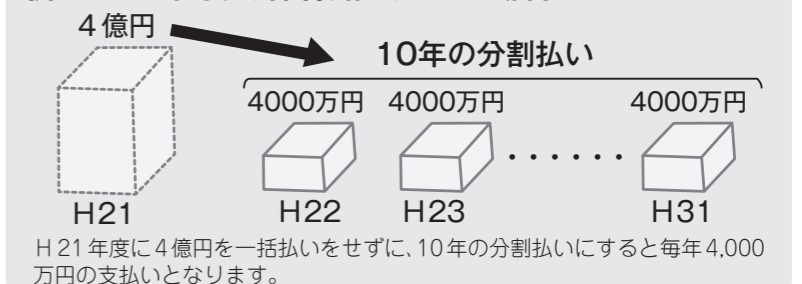
### どうして市債を発行するの？



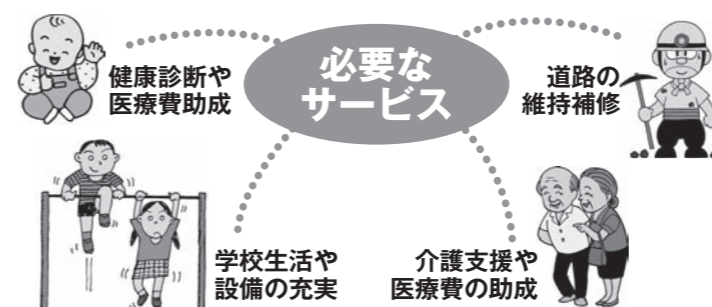
市債とは、道路や橋、学校など長い年月使用する施設を建設する場合に発行するものです。このような施設を建設する費用は、建設したときの市民だけがすべてを負担するのではなく分割払いにすることで、将来、市民となられる方々にも公平に負担していただきます。



### 例えば、4億円で体育館を造った場合…



### もし、市債を発行せずに体育館を造った場合…



### サービスに影響が…

左のように、必要なサービスを維持するためには、体育館建設などの大規模事業は市債を活用して、毎年の支払いを少なくすることも必要です。